

事務事業名	オートレース場施設改善事業					事務事業No.	426 - 2			
1. 基本情報										
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名		
経済部	公営競技事業所		経理管理係		主任	山田 健人	副所長	榊 敏江		
施策体系	総合計画	政 策	4	地域経済						
		施 策	2	地場産業の振興						
		基本事業	6	公営競技事業(オートレース)の円滑な運営						
	その他の計画	個別計画	なし							
根拠法令・条例・要綱等	小型自動車競走法、小型自動車競走法施行令、小型自動車競走法施行規則、飯塚市小型自動車競走実施条例、飯塚市小型自動車競走実施規則									
事業開始年度	昭和32年度		事業終了年度		継続	事務事業類型	施設維持管理事業			
実施手法	一部委託		補助金等の支給		なし	実施計画期間	なし			
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）										
概要	飯塚オートレース場内の施設を改修することによって公正安全なレースを開催するとともに、来場者に快適なレジャー空間を提供する。									
対象	働きかける相手・もの	オートレース場内施設								
手段	方法・働きかけ（活動指標）	老朽化しているオートレース場施設について、各所改修を行うとともに、今後の施設改善方針の検討を行う。								
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	来場者に安全で快適な施設を提供するため、適切な改修を行い、今後長期にわたって利用可能な施設とする。								
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）										
指標名		単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
施設改善事業		千円	施設改修工事費等		119,141	169,879	261,707			
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）										
指標	入場者数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
		人	100,000		目標値	100,000	140,000			
説明	本場開催時における入場者数	方向性	達成目標年度		実 績	87,208	84,531			
		増加	毎年度							
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
					目標値					
説明		方向性	達成目標年度		実 績					
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込			
					目標値					
説明		方向性	達成目標年度		実 績					
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）										
経費区分	一般会計	—			特別会計	特別会計（政策的経費）				
予算科目・事業	会計	5	小型自動車競走事業特別会計		款	1	競走費			
	大	1	施設改善事業費		中	1	施設改善事業費			
投入人員 (当該事務事業に 対して1年間に投 入した人員)	(R2以降)	前年度実績 (千円)		本年度実績 (千円)		増減理由 (10%以上の場合)		次年度予算 (千円)		
	正職員	0.80	人	6,357	0.80	人	6,516	1.00	人	8,144
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0	
人件費計 (A)		6,357		6,516		実施計画及び維持修繕・更新計画に基づき、計画的に改修を実施しているため		8,144		
事業費	直接事業費 (B)	119,141		169,879				261,707		
	総事業費 (A+B)	125,498		176,395				269,851		
直接事業費のうち の主な歳出内訳	施設改善事業費	43,896		51,849				155,307		
	施設改善事業費【政策】	75,245		118,030				106,400		
財源内訳	使用料・手数料 (受益者負担分)	94,932		166,015				255,918		
	国・県支出金	0		0				0		
	市債	0		0				0		
	一般財源	0		0				0		
その他 (利子・運用収入等)		30,566		10,380				13,933		

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載	
妥当性 評価	高い	市が所有する施設であり、包括的民間委託業務契約においても、建築物の補修等、大規模な修繕については市が実施することとしている。また、全体的に老朽化し、施設の経年劣化により維持管理上の問題も頻繁に起きているため。	
効率性 評価	高い	包括的民間委託業務契約において、1件あたり100万円未満の施設、設備の修繕は包括的民間委託業者が行っており、大規模な修繕費用等は市が負担することとしているため。全体的な老朽化によって、施設改善方針を策定したうえで計画的に改修を行う必要がある。	
有効性 評価	高い	オートレースの開催に必要な施設であり、適宜改修を行うことで円滑な運営に貢献できた。公正安全なレースの開催及び来場者の安全のために施設改善の継続は必要である。	
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	平時の施設の維持管理に努めるとともに、包括的民間委託業者、競走会、その他オートレースに携わる関係機関からの意見等を聴取し、施設全体の老朽化した箇所の把握に努める。
	拡充	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	
	一次評価	コストの方向性	大規模な改善(改修)工事が必要となる案件については、その必要性・緊急性を勘案して計画的に改善を行う。
	現状維持		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
平時の維持管理に努め、関係団体からの意見等を基に老朽化した箇所の把握・リストアップを実施した。老朽化した箇所のうち、今後改修が必要となるものは維持修繕・更新計画に計上し、今後10年間の改修計画を策定した。			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
【成果】	施設改善(改修)計画に基づき各所の改修工事を実施したことで、公正かつ安全なレースを開催するとともに、来場者に安全な施設環境を提供することができた。		
【課題】	施設全体が老朽化しており、突発的に改善が必要な場合もあることから、老朽化した施設、設備の把握など、一層の維持管理の強化に努める必要がある。		
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性		【理由】	全体的な老朽化によることから、施設改善方針を策定したうえで計画的に改修を行う必要がある。
拡充			
コスト投入の方向性		【理由】	包括的民間委託業務契約において、1件あたり100万円未満の施設、設備の修繕は包括的民間委託業者が行い、大規模な修繕費用等は市が負担する。
現状維持			
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		平時の施設の維持管理に努め、包括的民間委託業者、競走会、その他オートレースに携わる関係機関からの意見等を聴取し、施設全体の老朽化した箇所の把握に努める。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		大規模な改善(改修)工事が必要となる案件については、その必要性・緊急性を勘案して計画的に改善を行う。	
評価変更理由	成果の方向性	施設については全て改修せずに、コンパクト化やゾーニングの検討を行った上で、来場者の増加につなげるることとして「拡充」 施設については全て改修せずに、コンパクト化やゾーニングの検討を行った上で、一時的にはコストの増が発生するが、その他の事業も含めたコスト削減に努めることとし「現状維持」	
	拡充		
	コスト投入の方向性		
	現状維持		